

1. 実践研究校名・責任者氏名

ふりがな	かさかしりつこうのしまそとしょうがっこう	ふりがな	いけだ えいいち
学校名	笠岡市立神島外小学校	校長氏名	池田 栄一

2. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究指定の意義及び内容の共通理解</li> <li>研究体制の構築及び校内研修計画の作成，検討</li> <li>外国語活動についての研修，共通理解（新学習指導要領等を中心に）</li> </ul>		
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究体制の構築及び校内研修計画の作成，検討</li> <li>外国語活動についての研修，共通理解（新学習指導要領等を中心に）</li> <li>外国語活動（授業）開始</li> </ul>		
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究内容及び方向性の検討</li> <li>環境整備等の計画作成</li> <li>先進校の取組について研修（出張報告をもとに）</li> </ul>		6/5:岡山大学附属小学校 6/17・18:筑波大学附属小学校
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究内容及び方向性の検討，修正</li> <li>環境整備（イングリッシュルームを中心に）</li> </ul>		
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画（案）の作成，検討</li> <li>教材研究及び環境整備（長期休業中）</li> <li>クラスルームイングリッシュの作成</li> </ul>		8/20:第1回推進協議会（県）
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画（案）の作成，検討</li> <li>アンケート調査①（児童）</li> <li>クラスルームイングリッシュの決定</li> </ul>		
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画（案）の検討，修正</li> <li>研究内容及び方向性の検討，修正</li> </ul>		
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画（案）の検討，修正</li> <li>指導案検討</li> <li>教具の作成や準備</li> </ul>		
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究授業（12/9）</li> <li>研究内容及び方向性の検討，修正</li> <li>授業研究会の計画</li> </ul>		
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進校の取組について研修，方向性の修正（出張報告をもとに）</li> <li>指導案検討</li> <li>校内研究授業（1/27）</li> <li>アンケート調査②（児童）</li> </ul>		1/22:岡山県小田郡矢掛町立矢掛小学校 1/28・29:香川大学附属坂出小学校 1/29:第2回推進協議会（県）
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進校の取組について研修，方向性の確認（出張報告をもとに）</li> <li>指導案検討，教具の作成や準備</li> <li>アンケート③（教職員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究会（2/19）</li> </ul> 指導：鳴門教育大学 准教授 兼重 昇 先生	2/5:広島大学附属小学校 2/11・12:福岡教育大学附属小倉小学校 2/12:京都市立第四錦林小学校 2/13:鳴門教育大学附属小学校
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究のまとめ（報告書含む）の作成</li> <li>1年次の研究の評価及び修正</li> <li>2年次の取組検討</li> </ul>		

【その他の取組】

◇ALT及び笠岡市立神島外中学校の英語の教員と情報交換を積極的に行い，外国語活動の授業や環境整備に反映させるよう努めた。

### 3. 取組の具体的な内容

a 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材（「英語ノート」、 「付属CD」（音声教材）、「英語ノート」指導資料及び「英語ノート」準拠デジタル教材）を活用した授業の実践

本校の外国語活動は、「英語ノート」を主教材とし、複式学級の指導に適用させるために、児童の発達段階や実態を踏まえて「英語ノート1」と「英語ノート2」を合わせる形で指導計画を作成することにした。本年度（第1年次）は、外国語活動として年間15時間を確保し、来年度（第2年次）は年間35時間を確保することになっている。また、扱う英語の会話表現は、題材と活動内容を基に、児童の実態に照らし合わせながら必要最小限にとどめた。年間指導計画や単元構成を考える上で、配慮した点は次の通りである。

- ◇ 特有の表現がよく使われる場面を多く取り入れる。
  - ・あいさつ ・自己紹介 ・買物 ・食事 ・道案内 など
- ◇ 児童の身近な暮らしにかかわる場面を多く取り入れる。
  - ・家庭での生活 ・学校での学習や活動 ・地域の行事 ・児童の遊び など
- ◇ 英語に触れ、慣れ親しむ場面を多く取り入れる。
  - ・音やリズムに触れる活動 歌・チャンツ など
  - ・単語や表現に触れる活動 ゲーム・ビンゴ など

b 外国語を通じた、言語や文化についての体験的な理解、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみなど、コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究

技能面の評価とならないようにし、各単元や単位時間の目標を達成している児童の姿を具体的にイメージし、その達成状況を把握した。併せて、児童による自己評価や相互評価を取り入れながら、学習意欲を高めるよう工夫した。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ①ALTや友だちと進んでコミュニケーションを図っている。
- ②さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。

【外国語の表現・理解】

- ①自分の気持ちや考えを発話している。
- ②視線を合わせるやジェスチャーを使うなど、外国語特有の表現の仕方を身に付けている。
- ③相手が伝えようとすることを理解している。

【言語や文化についての関心・意欲・態度】

- ①外国の人や言葉に興味をもっている。
- ②言語や文化・生活について理解している。

c 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施

毎時間の授業では、児童による自己評価（振り返り）カード「E-スマイル 1・2・3」を活用したり、振り返り場面で相互評価させたりしながら、児童の学習意欲を高めるよう配慮した。また、活動を終えた児童が達成感や成就感、失敗したことや不安だったことを伝え合う場面を設けた。振り返りカードには、毎時間同じ項目（「ハッピートライアングル（スマイル・ボイス・ジェスチャー）」）とその単元のねらいに関わる項目を入れるよう工夫した。併せて、児童については年2回、教職員については年1回のアンケート調査（意識調査）を行い、児童や教職員の意識及びその変容を把握するようにした。

授業においては、ほぼ100%の児童が「楽しかった」と答えており、「スマイル・ボイス・ジェスチャー」についても肯定的な評価ばかりであった。また、授業の感想には、自分だけでなく友達の頑張りも認めた内容が多く見られ、最近では学習内容に関わる気付きや喜びも多く見受けられるようになってきた。今後は、振り返りカードをより効果的に活用できるように、内容及び活用の仕方についても研究を進めていきたい。

次に、年2回のアンケート調査の結果から、児童のほとんどが外国語活動を楽しみにしており、自分なりに頑張っているという意識をもっていることが分かった。併せて、教職員の結果からも同様の傾向が見受けられた。

d 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組

外国語活動は、指導計画の立案から実際の授業に至るまで、HRT（学級担任）が主体となって進めることを基本とする。ALT（外国語指導助手）の協力を得ながら、TT（ティーム・ティーチング）を行うことも効果的である。ただ、その場合においても、児童の実態を一番把握している学級担任がリードして行うことにした。

そこで、教員の指導力向上のために、校内研修において次の点に焦点化した研修を行った。

- ◇ 新学習指導要領の理解に係る研修
- ◇ 先進校への視察及びその報告をもとにした全体研修
- ◇ 外部講師（教育委員会、大学教員等）を招聘した研修
- ◇ 外国語活動関係図書を活用した研修
- ◇ 校内授業研修会における事前・事後検討会の充実
- ◇ ALT及び中学校英語教員との交流

**e 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用**

外国語活動は、指導計画の立案から実際の授業に至るまで、HRT（学級担任）が主体となって進めることを基本とした。ただし、ALT（外国語指導助手）の協力を得ながら、TT（チーム・ティーチング）を行うことも効果的である。そこで、HRTとALTの役割分担を明確にすることとした。

HRTは、児童一人ひとりの興味・関心及び知識・技能について、実態を把握している立場である。それらの実態を踏まえながら、授業の構想及び指導案を作成する。そして、それをもとにALTと相談し、活動や支援を具体化していくこととした。地域人材等については、現時点では適した人材がないため難しい。

**f 他の小学校や中学校等との連携**

研究の方向性や内容について、様々な視点で検討したり、助言をもらったりすることができるよう、笠岡市教科検討委員会（外国語活動）及び市内の先進的に取り組みを進めている小学校、そして学区の中学校と連携・協力できるようにした。しかし、本年度については、なかなか進まず、英語表現について中学校の英語教員からのアドバイスを受けたり、授業参観の機会を数回設けたりするにとどまった。

今後は、小・中学校の連携について、具体的な取組を考えていきたい。

**g その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）**

当初は、研究推進委員会で研究の方向性を考えるようにしていたが、本校は小規模校であり、教職員の人数が少ないため、研究主任を中心に全教職員が協力して取り組むようにした。また、具体的な取組を「授業研究」に係る内容と「環境整備」に係る内容に分け、前者は学級担任を中心に、後者は担任以外を中心に提案することとした。

地域との連携については、まず本校で行っている外国語活動の授業を知ってもらうことをねらって、11月初旬に実施するオープンスクールの際に参観できるようにした。

#### 4. 年間指導計画及び指導案

別添資料参照。

#### 5. 取組の成果等

**(1) 児童の実態に応じた学習過程の工夫による関心・意欲の向上**

学習活動が、児童の実態を踏まえて自然な流れとなるように、そして児童にとって必要感や必然性を感じるものとなるように配慮した。また、ゲームやチャンツ、アクティビティを工夫した。その結果、児童全員(100%)が「楽しい・好き」「頑張っている」と感じることができるようになった。また、授業に進んで参加し、内容を理解していると肯定的に捉えている児童も100%であった。

**(2) 相手のことを考え「伝えてよかった」「聞いてよかった」と思える体験の充実**

英語に触れ、英語に慣れ親しむために、「ていねいに」「ゆっくりと」「くり返して」を大切にして授業に取り組んだことで、児童のコミュニケーションが円滑に進むようになってきた。併せて、相手意識をもちながら、コミュニケーションを図ろうという姿勢も育ってきた。その中で、伝え合うことの喜びを味わうことができた。

**(3) 児童の不安や抵抗感の減少**

HRTとALTの役割分担を明確にするとともに、相互に連携し個に応じた支援や声掛け、称揚を行うように配慮した。また、常に笑顔で児童に接し、肯定的に評価しようと努めた結果、児童は不安や抵抗感を感じるものが減り、外国語活動の授業を楽しむようになった。この点も、児童の全員が「楽しい」と回答した理由である。

**(4) 「振り返り」カードを活用した自己評価及び相互評価の充実**

毎時間の授業の中で、児童自らの意欲や姿勢、友達の頑張りや良さ等について評価させ、全体にフィードバックすることを通して、満足感や達成感をより共有することができるようになった。また、評価を通して児童が自らの取組を振り返り、個々の課題を把握しやすくなった。そして、教師がそれらを次の授業へ生かすことで、授業改善に役立つようになった。

#### 6. 次年度以降の継続・展開

**(1) 育てたい児童像の明確化及び評価規準等の作成**

外国語活動を通して、どのような児童を育てていくかというゴールを明確にし、そのために必要な「コミュニケーション能力の素地」とは何かを児童の姿をもとに具体化し、評価規準と評価方法を検討する。併せて、年間指導計画及び指導案を整える。

**(2) 「考える」時間の確保**

コミュニケーションの場面において、「話す」「聞く」という場面を大切にするとともに、児童自らが「どうしたら」と考える場面を意図的に設定し、その時々状況に応じてコミュニケーションを図れるようにしたい。そこで、教師は待つ姿勢を大事にし、児童に関わっていきたい。

**(3) 「慣れ親しむ」活動の充実**

本校の児童は、いろいろな会話表現に対して抵抗感をもっている。その抵抗感を無くすためには、単元で扱う会話表現を何度も何度もくり返して練習したり、ゆっくり発話したりする活動が必要である。

## 外国語活動年間指導計画 A年度 (35時間)

笠岡市立神島外小学校

単元 (Lesson)	タイトル	指導内容			
		第1時	第2時	第3時	第4時
1 4月	世界の「こんにちは」を知ろう	・世界には様々な挨拶があることを知る。	・挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。	・友だちと挨拶をし、作成した名刺を交換する。	
	使用表現等	What's your name? / My name is Ken. / Nice to meet you. 等			
2 5月	ジェスチャーをしよう	・様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを付けて思いを伝える。	・ジェスチャーを付けて、進んで相手に挨拶をする。	
	使用表現等	How are you? / I'm happy. 等			
3 6月	数で遊ぼう	・世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1～10の数を言う。	・世界には様々なジェスチャーがあることを理解し、1～20も数を言う。	・幾つか尋ねたり、1～20の数で答えたりする。	・数を扱ったゲームを友だちと行う。
	使用表現等	How many? / Five. 等			
4 7月	自己紹介をしよう	・好き嫌いについて聞き取る。	・自分の好き嫌いを相手に伝える。	・友だちに好き嫌いを尋ねる。	
	使用表現等	Do you like apples? / Yes, I do. / No, I don't. I like bananas. / Thank you. 等			
5 9月	できることを紹介しよう	・相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解する。	・質問に答えて、自分にできることと、できないことを伝える。	・友だちとどのようなことができるのかを、尋ねたり答えたりする。	・自分のできることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。
	使用表現等	Can you swim? / Yes, I can. / No, I can't. I can swim. I can't swim. 等			
6 10月	外来語を知ろう	・外来語とその由来の語との発音の違いに気付き、注意して発音する。	・相手から尋ねられた際、自分の欲しいものを相手に頼む。	・欲しいものを尋ねたり要求したりして、友だちのフルーツ・パフェを作る。	・作ったフルーツ・パフェを紹介する。
	使用表現等	What do you want? / Melon, please. 等			
7 11月	道案内をしよう	・町中にある様々な建物の言い方に興味を持ち、理解する。	・方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。	・方向や動きを指示する表現を使って、相手に目的の場所を教える。	・実際に道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。
	使用表現等	Where is the flower shop? / Go straight. Turn right / left. / Stop. 等			
8 12月	行ってみたい国を紹介しよう	・世界には様々な英語があることを知る。	・行きたい国とその理由について聞き、概要を理解する。	・行きたい国を尋ねたり答えたりする。	
	使用表現等	I want to go to Italy. / Let's go. 等			
9 1, 2月	ランチ・メニューを作ろう	・日本と外国とでは、朝食時に食べているものが異なっていることを知る。	・食べ物や料理を表す語を知る。	・丁寧な表現で尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。	・グループで作成したオリジナル・ランチ・セットを紹介する。
	使用表現等	What would you like? / I'd like juice. 等			
10 2, 3月	クイズ大会をしよう	・英語と日本語の違いを通して、漢字の成り立ちの面白さに気付く。	・What's this? を使って尋ねる。	・友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会を楽しむ。	
	使用表現等	What's this? / It's a pencil. 等			

## 外国語活動年間指導計画 B年度 (35時間)

笠岡市立神島外小学校

単元 (Lesson)	タイトル	指導内容			
		第1時	第2時	第3時	第4時
1 4月	世界の「こんにちは」を知ろう	・挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。	・友だちと挨拶をし、作成した名刺を交換する。		
	使用表現等	What's your name? / My name is Ken. / Nice to meet you. 等			
2 5月	ジェスチャーをしよう	・様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを付けて思いを伝える。	・ジェスチャーを付けて、進んで相手に挨拶をする。	・感情や様子を、ジェスチャーを付けて表現し、伝える。
	使用表現等	How are you? / I'm happy. 等			
3 6月	友だちの誕生日を知ろう	・1～20の数を言う。また、21以上の数を言う。	・日本の行事や特徴を確認し、行事の行われる月の言い方を知り、自分の誕生日を言う。	・自分や友だちの誕生日について尋ねたり、答えたりする。	
	使用表現等	When is your birthday? / My birthday is March 3rd. 等			
4 7月	いろいろな衣装を知ろう	・世界には様々な衣装があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。	・自分の意見をはっきり言うことの大切さに気付くとともに、衣服を買う時の表現を知る。	・好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物できるように声をかけたりする。	・聞き手に自分が買ったものが正しく伝わるように発表する。
	使用表現等	I don't like blue. 等			
5 9月	アルファベットで遊ぼう	・アルファベットの大文字の読み方を知る。	・アルファベットの文字の読み方を聞いて、大文字を認識する。	・自らアルファベットの文字を読み、大文字とその読み方とを一致させる。	
	使用表現等	What's this? / It's ~. / A ~ Z 等			
6 10月	いろいろな文字があることを知ろう	・世界の様々な文字に興味を持ち、アルファベットには小文字もあることを知る。	・アルファベットの小文字に興味を持ち、小文字を認識する。	・自らアルファベットの文字を読み、小文字とその読み方とを一致させる。	・身の回りにあるアルファベット表示に興味を持ち、アルファベットの大文字と小文字に慣れ親しむ。
	使用表現等	What's this? / a ~ z 等			
7 11月	自分の一日を紹介しよう	・世界には時差があることを知るとともに、時間についての表現を知る。	・先生の一日の生活について話を聞き、その概要を理解する。	・自分の生活に関する表(生活表)を作成する。	・作成した生活表をもとに、自分の一日を紹介する。
	使用表現等	What time do you get up? / At 7:00. / I go to bed. 等			
8 12月	時間割を作ろう	・外国の小学校では、どのようなものが学習されているか知るとともに、教科の言い方を知る。	・教科名や曜日を扱ったゲームを積極的にする。	・作成した自分のオリジナル曜日時間割を友だちに伝える。	・グループで作成した時間割を発表する。
	使用表現等	I study Japanese. 等			
9 1, 2月	クイズ大会をしよう	・What's this?の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。	・What's this?を使って尋ねる。	・友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会を楽しむ。	
	使用表現等	What's this? / It's a pencil. 等			
10 2, 3月	将来の夢を紹介しよう	・様々な職業の言い方を知る。	・将来つきたい職業について話されていることを聞いて理解する。	・将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。	・スピーチ・メモをもとに、理由を含め自分の夢を紹介する。
	使用表現等	What do you want to be? / I want to be a teacher. 等			

## 第5・6学年（複式学級） 外国語活動学習指導案

笠岡市立神島外小学校

1. 単元名 : 世界の「こんにちは」を知ろう（英語ノート1 p.4,5 Lesson1 第1時）
2. 本時のねらい : 世界には様々な挨拶があることを知る。
3. 本時の展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	ALTの活動	●指導上の留意点 ◎評価規準	教材
挨拶・導入 10分	・挨拶する。 Hello. / Good morning. OK.	・元気よく挨拶をする。 Hello. / Good morning. Let's start English class.	・元気よく挨拶をする。 Hello. / Good morning. OK. All right.	●初めての外国語活動に対する児童の緊張を解きほぐすために、指導者が自ら元気よく挨拶をする。	
	・ALTの自己紹介を聞く。  ・学級担任の自己紹介を聞く。	・学級担任は、ALTを紹介する。 ・ALTは全体に挨拶をした後、簡単な英語を使って自己紹介をする。学級担任は、児童とその自己紹介を聞く。  ・学級担任は、簡単な英語を使って自己紹介をする。ALTは、児童とその自己紹介を聞く。		●指導者は、表情豊かにジェスチャーを付け、写真や具体物を示したり、絵を描いたりして児童が英語を聞いて理解できるようにする。 ●ALTと学級担任とは、大きさに驚いたり、話し手の英語を繰り返したりして、互いの紹介に関心を持って聞いていることが児童に伝わるようにする。	
展開 15分	・ALTに挨拶をして、名前を言う。 (My name is) ~.	・児童の反応に声をかける。 「名前だけでもいいよ。」 「がんばったね。」 Well done.	・一人一人の児童に名前を尋ねる。 Hello. My name is~. What's your name? Nice to meet you. Very good!	●学級担任は、ALTに名前が言えた児童をほめたり、なかなか名前が言えない児童には、そばに寄り添って、一緒に名前を言ったりして、ALTと児童との橋渡しをする。	
	【Let's Chant】 ・チャンツを聞く。  ・チャンツを言う。  ・名前を尋ねられた児童は、～に自分の名前を入れて言う。	・役割分担をして、チャンツを言う。  ・自分の名前を～に入れて、一緒にチャンツを言うように促す。  ・チャンツ2を役割分担して紹介する。		●グループに分け、それぞれに指導者がついて一緒にチャンツを言うようにし、児童にチャンツに慣れさせるようにする。 ●チャンツに合わせて自分の名前を言うことにより、勇気を出して、自分のことを知ってもらう機会とする。	CD
展開 15分	【Let's Listen】 ・英語以外で知っている挨拶を答える。 ・CDを聞いて、聞こえた挨拶を答える。それらが、英語ノートp. 4, 5の世界地図上のどの子どもたちが言っている挨拶かを予想して答える。 ・指導者の挨拶に応える。「アニョンハセヨ」「ボンジュール」「ズドラーストヴィチェ」など。	・Hello.やHiなどの英語以外で、どんな言語の挨拶を知っているかを尋ねる。 ・CDを聞かせて、どんな挨拶があったかを尋ねる。 ・それぞれの挨拶は、英語ノートp. 4, 5のどのペアの子どもたちが言っているかを、子どもペア絵カードを見せながら予想するように言う。 ・二人で、CDで聞いた言葉を使って、実際に挨拶を試みせる。それぞれの言葉で、数名の児童にも挨拶をする。「こんにちは」「ニーハオ」「アニョンハセヨ」など。	Do you know any other greetings?  Listen to the CD.	●児童の多くは、「ニーハオ」などの英語以外の言語での挨拶を聞いた経験があると思われる。そこで、いきなりCDを聞かせるのではなく、それらを引き出すことにより、英語以外の挨拶に興味を持たせるようにする。 ◎積極的に様々な挨拶を言おうとしている。(行動観察)	英語ノート p.4,5 CD 子どもペア 絵カード
	【Let's Play】 ・ゲームの説明を聞き、ペアになり、ゲームをする。	・キー・ワードゲームをすることを告げる。 ・やり方をデモンストレーションで示す。		●実際にそのゲームをやってみせることにより、児童に十分に理解させるようにする。	子どもペア 絵カード
挨拶 10分	・振り返りをする。	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・児童の英語についてよかったところを言う。	●次時の意欲につながるように、具体的に児童のよかった点を評価する。	
	・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・挨拶をする。 Good-bye. See you.			

4. 指導後の反省等 : 世界の国々の挨拶を聞いたり言ったりする中で、外国語に対して興味や関心を持つことができた。今後も楽しく活動を進められるようにしたい。

## 第5・6学年（複式学級） 外国語活動学習指導案

笠岡市立神島外小学校

1. 単元名 : 世界の「こんにちは」を知ろう（英語ノート1p.4-8 Lesson1 第2時）
2. 本時のねらい：挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶をして、自分の名前を言う。
3. 本時の展開

過程	児童の活動	学級担任の活動 ALTの活動	●指導上の留意点 ◎評価規準 ◆国際理解の視点	教材
挨拶 ・ 導入 8分	・挨拶する。 Hello. / Good morning. OK.	・全体に挨拶をし、個別にも挨拶をする。 Hello. / Good morning. Let's start English class.	●児童の緊張を解きほぐすように、指導者自ら元気よく挨拶をする。	
	【Let's chant】 ・“Hello Chant”を役割分担をしてチャンツを行う。	・最初は全体で歌い、次にペアで役割分担してチャンツをするように告げる。 Let's do the chant.	●最後に児童がペアで役割分担をして言えるように、児童の実態に応じて、言い方を工夫する。	CD
展開 15分	【Activity 1】 ・挨拶を答える。 “Hello.” “Bonjour” 「アニョンハセヨ」など。 「アメリカ」「フランス」など。 ・国名を推測して答える。 「日本」「アメリカ」「インド」など。  ・英語ノートp. 6に①～⑥の番号を記入する。	・前回に扱った世界の挨拶にはどのようなものがあったか、また、それらはどこの国の挨拶かを、子どもペア絵カードと英語ノートp. 4, 5の世界地図を見せながら尋ねる。  ・言葉以外にも、国によって挨拶の際に独特のジェスチャーがあることを告げ、2人でそのジェスチャーを入れながら挨拶をし、それがどこの国の挨拶かを予想させる。  ・挨拶ジェスチャー絵カード6種類を見せ、どのような動作をしているかを児童と確認し、英語ノートp. 6の四角の中に、下の挨拶の絵の①～⑥の番号を記入するように告げる。	◆挨拶の際のジェスチャーをしてみせ、児童にいくつかの国を推測しやすくする。 ●6種類の挨拶ジェスチャー絵カードを提示し、児童が世界には様々な挨拶やその際のジェスチャーがあることを理解できるようにする。 ◆様々な国のマナーを知り、実際にやってみることに、文化の多様性と普遍性への認識を深めていく。	英語ノート p.4-6 CD  子どもペア 絵カード  世界地図  挨拶ジェス チャー絵カ ード
	【Activity 2】 ・活動のやり方を知る。 ・友だちを見つけ、挨拶をする。 ・挨拶をした友だちの数だけを発表する。	・学習した表現を使い、友だちと挨拶をしようと呼びかけ、2人でやり方をデモンストレーションで示す。	●相手の目を見て、はっきりと名前を言うことが大切であることがわかるように、指導者はデモンストレーションで示す。 ◎マナーを守り、積極的に挨拶をする。（行動観察）	
展開 10分	【Activity 1】 ・名刺の作り方を知る。  ・英語ノートp. 8の名刺を参考に自分の名刺を作成する。名刺台紙に、ローマ字で姓と名を書く。四角い枠の中に、自分の顔や好きなものの絵を描く。	・名刺を作ることを告げる。ALTが事前につけていた名刺を紹介し、学級担任がALTの指示に従って名刺を作り、作り方を示す。  ・児童に名刺台紙を配付し、英語ノートp. 8の名刺を参考に、それに名前を書いたり、絵を描いたりして名刺を作るように指示する。	●ALTが事前につけた名刺を見せることで、児童に先の見通しを持たせる。また、学級担任とALTとのやり取りを通して、児童に名刺の作り方を理解させるようにする。 ●学級担任は、ALTと名刺についてやり取りをする際に、文法的に正しい文を流暢に話すことよりも、フレーズであっても、流暢でなくても、身振り手振りを使いながらも英語を使ってALTに自分の思いを伝えようとする態度が大切であることを理解させるようにする。	英語ノート p.8  名刺台紙 （各児童5 枚ずつ）
挨拶 2分	・振り返りをする。	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。	・児童の英語についてよかったところを言う。	・次時の意欲につながるように、具体的に児童のよかった点を評価する。
	・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・挨拶をする。 Good-bye. See you.		

4. 指導後の反省等：指導者のデモンストレーションでは、やり方を示すだけでなく、気持ちよく挨拶するためにはどのようなことを大切にすればいいか気付かせることができた。

## 第5・6学年（複式学級） 外国語活動学習指導案

笠岡市立神島外小学校

1. 単元名 : 世界の「こんにちは」を知ろう（英語ノート1 p.8-9 Lesson1 第3時）
2. 本時のねらい：友だちと挨拶をし、作成した名刺を交換する。
3. 本時の展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	ALTの活動	●指導上の留意点 ◎評価規準 ◆国際理解の視点	教材
挨拶 5分	・挨拶する。 Hello. / Good morning. OK.	・全体に挨拶をし、個別にも挨拶をする。 Hello. / Good morning. Let's start English class.		●1人ずつ児童の名前を呼んで挨拶をすることにより、児童全員が指導者と1対1で英語で挨拶をする機会を持てるようにする。	
展開 10分	【Let's chant】 ・CDに合わせて Hello Chantを言う。 ・指名された児童は、My name is ~.の名前の部分に自分の名前を入れてチャンツを言う。	・児童を2つのグループに分け、チャンツを言う。名前の部分は、それぞれ自分の名前を入れてチャンツを言うように指示する。		●全体でチャンツを言い、児童が自分の名前を入れてチャンツをするのに慣れてきたら、1人の児童に言わせるようにする。	CD
展開 5分	【Let's Listen】 ・CDを聞いて、テキストの四角に番号を入れる。	・英語ノート p. 8 【Let's Listen】の4人が挨拶合っている状況を説明する。 ・CDを聞かせる。	・CDを聞いて、英語ノートのどの子どもの挨拶かを聞き取って、英語ノート p. 8の四角に番号を入れるように指示する。	◆英語ノートの絵で示されているように、名前を伝え合う際には、互いに目を見ながら自己紹介をすることが大切であることを理解させる。	英語ノート p.8 CD
展開 20分	【Activity 2】 ・名刺交換の方法を知る。	・前時に示した名刺を使って、名刺交換の方法を2人でデモンストレーションで示す。 ・児童の代表2、3名と名刺交換をする。		●児童に、前時に学習した、相手の目を見て自己紹介をすることを思い出させるために、指導者は、デモンストレーションで、互いにしっかり相手の目を見ながら行うようにする。 ●指導者は代表の児童2、3名と名刺交換を行い、自分もできるという自信を持たせるようにする。	
	・自己紹介をして、名刺の交換をする。 Hello. My name is ~. Thank you. See you.  ・名刺の数を数えて、発表する。  ・もらった名刺を英語ノート p. 9に貼り、名刺の数を口に記入する。  ・もらった名刺を紹介する。	・児童にやってみよう告げる。 Everyone, stand up. Ready, go.  ・もらった名刺の数を大きめに数える。  ・ALTの指示に従って、もらった名刺を英語ノートに貼ってみせる。  ・数名の児童を指名し、名刺についてコメントをする。	・何枚名刺をもらったかを尋ねる。 How many cards did you get? ・もらった名刺を英語ノート p. 9に自分で貼ってみせ、児童にも貼るように告げる。	●名刺交換に指導者も加わり、名前や挨拶が言いづらそうな児童と名刺交換をする。その際、名前の言い方や挨拶の仕方を一緒に言うなどして、児童が自信を持って1人でも言えるようにする。 ◎自分から進んで相手と挨拶をし、名刺を交換する。（行動観察） ◆名刺を交換する活動を通して、人と人とが知り合い、親しくなっていく喜びを実感させる。	前時に作成した名刺 英語ノート p.9
挨拶 5分	・振り返りをする。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・児童の英語についてよかったところを言う。	・次時の意欲につながるように、具体的に児童のよかった点を評価する。	

4. 指導後の反省等：名刺を各自が作っていたことで、友達と交換したい気持ちが生まれ、進んで友達と名刺交換をすることができた。





## 第5・6学年（複式学級） 外国語活動学習指導案

笠岡市立神島外小学校

1. 単元名 : ジェスチャーをしよう (英語ノート1p.11-12 Lesson2 第2時)
2. 本時のねらい: ジェスチャーの大切さを知り, 進んでジェスチャーを付けて思いを伝えようとする。
3. 本時の展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	A L Tの活動	●指導上の留意点 ◎評価規準 ◆国際理解の視点	教材
挨拶 3分	・挨拶する。 Hello, I'm hungry / sleepy / happy / fine.	・表情絵カード見せながら全体に挨拶をする。 Hello, how are you? Are you fine / happy / hungry / sleepy?		●全体で挨拶をし, 前時に学習した表情絵カードを見せながら, 前時に学習したことを思い出させるようにする。	表情絵カード
復習 8分	・1人ひとりが指導者と挨拶をし, 自分のそのときの様子を答える。	・指導者2人で児童を分担して, 個別に挨拶をする。 Hello, ~. How are you? Are you fine / happy / hungry / sleepy?		●指導者は, 個別にそのときの様子を尋ねるが, 児童が返答に詰まったときは, 黒板に貼られた絵カードを指さしたり, ジェスチャーをしてみせたりしながら, 具体的に Are you hungry / sleepy?などと尋ね, 児童が答えやすくする。	表情絵カード
復習 5分	【Let's Sing】 ・ジェスチャーを付けて“Hello Song”を歌う。	・ジェスチャーを付けて児童と一緒に歌う。		●歌詞の fine の部分を, happy に替えたり, 速度を変えたりすることにより, 児童に飽きさせずに歌わせるようにする。	C D
復習 10分	【Activity】 ・教室内を歩いて, 友だちを見つけて挨拶をし合う。 Hello, ~. How are you? I'm happy / fine hungry / sleepy.	・友だちと挨拶をしてみようと呼びかけ, そのやり方をデモンストレーションで示す。表情絵カードを黒板に貼ったままにしておく。 H:How are you? A:I'm fine. (ジェスチャーで元気な様子を示す) How are you? H:I'm happy. (ジェスチャーでうれしそうな様子を示す) A:Happy! (うれしそうな様子で繰り返す)		●単に様子を表す語を言葉として理解するのではなく, 言葉は気持ちをとまなげて発せられることを理解させるために, そのときの気持ちや様子のジェスチャーを実際に児童にさせるようにする。 ◎進んでジェスチャーを付けて, 挨拶をしようとする。(行動観察)	表情絵カード
展開 10分	【Let's Play 1】 ・指導者のジェスチャーを見て, 何をしている様子かを日本語で答える。  ・グループ内で, ジェスチャー・ゲームを楽しむ。	・ジェスチャー・ゲームをすることを告げる。 ・指導者は, 順にジェスチャーをしてみせ, それは何をしている様子かを尋ねる。示すジェスチャーは, 児童が生活で実際にやっているようなものを扱う。  ・グループで, 順にジェスチャーをして, 何の動作かを互いにあて合うように言う。		◆この活動を通して, ジェスチャーや顔の表情が, 言いたいことを伝える際に有効であることを理解させるとともに, 自分なりに工夫して表情をしてみせたり, ジェスチャーをしたりする体験をさせるようにする。	
展開 6分	【Let's Play 2】 ・指導者のスキットを見て, 学級担任とA L Tとではジェスチャーが違うことに気付く。  ・英語ノートp. 12の絵を見て, ジェスチャーの違いを確認する。	・2人で, 「私」「こちらに来て」のジェスチャーを含んだスキットをする。  ・国によって, 1つのことを表すときでもジェスチャーが違うことを, 英語ノートp. 12の絵を見せながら確認する。		●2種のジェスチャーを児童にわかりやすく提示し, その違いが明確になるよう少々大きめにジェスチャーをしてみせるようにする。 ●児童自らの気付きを大切にするため, 児童が気付くまで繰り返し行うようにする。	英語ノート p.12
挨拶 3分	・振り返りをする。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・児童の英語についてよかったところを言う。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	●次時の意欲につながるように, 具体的に児童のよかった点を評価する。	

4. 指導後の反省等: ジェスチャー・ゲームでは, 言葉を使わなくても表情やジェスチャーで自分の思いを伝えることをできることを体験し, 楽しく活動することができた。

## 第5・6学年（複式学級） 外国語活動学習指導案

笠岡市立神島外小学校

1. 単元名 : 道案内をしよう（英語ノート2 p.30-31 Lesson5 第1時）
2. 本時のねらい：町中にある様々な建物などの言い方に興味を持ち、理解しようとする。
3. 本時の展開

過程	児童の活動	指導者の活動	●指導上の留意点 ◎評価規準	教材
挨拶 2→分	・挨拶する。 Hello. (I'm)good/fine/ sleepy/hungry	・全体に挨拶をした後、一人ずつ挨拶をする。 Hello, how are you?	●これから授業が始まることを意識させるように、元氣よく挨拶をする。	
導入 10分	・絵カードを見て、何かを答える。 Flower Flowershop Book Bookstore  ・CDを聞く。	・町中の建物絵カードを見せ、何かを尋ねる。 Look. This is a flower.What shop is this? That's right. This is a flower shop. school, police box, bank, bus stop, hospital, post office, fire station, barbershop, department store.  ・CDを聞かせて言い方を練習させる。	●絵カードを見せて、それが何かを尋ねるのではなく、絵の一部からそれが何かを児童に推測させることにより、児童に興味を持って答えさせるようにする。	建物絵カード  CD
展開 10分	【Let's play1】 ・ゲームのやり方を知り、ゲームをする。	・おはじきゲームのやり方を説明する。 ①町中の建物から5つ選んで、その上におはじきを1つずつ置く。 ②指導者が言う建物の単語の上に、おはじきを置いていたら、取る。 ③おはじきがなくなったら、Finished!と言う。	●おはじきがない場合は、建物に鉛筆などで直接印を付けさせてもよい	英語ノート p.30,31 おはじき
展開 10分	【Let's play 2】 ・ゲーム①のやり方を知る。 ・ペアで指差しゲームをする。	・指差しゲームのやり方を説明する。 ①ペアになり、2人の間に英語ノートp. 30, 31を開けて置く。 ②CDや指導者が言う単語を聞いて、それぞれを指差す。 ③早く指差した方が1ポイントもらう。	●町中にある建物の単語を何度も聞かせ、児童にこれらの単語になれさせるようにする。 ◎建物の言い方を聞いて、それを指差そうとする。 (行動観察)	英語ノート p.30,31 CD
展開 10分	【Let's play 2】 ・ゲーム②のやり方を知る。 ・ペアで指差し指差しゲームをする。	・指差し指差しゲームをすることを告げる。 ①ペアになり、2人の間に1冊の英語ノートp. 30, 31を開けて置く。 ②指導者が言う町中の建物などの単語を聞いて、それを指差す。 ③早く指差した方は、その建物を差した指を動かさず、そのまま差し続ける。 ④次に言われた建物は違う指で差す。 ⑤多くの建物を指差している方が勝ちとなる。		英語ノート p.30,31
挨拶 3→分	本時の振り返りをする。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・主に英語を使おうとする態度面について評価する。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで、児童に次時への意欲を高めるようにする。	

4. 指導後の反省等：建物の名前は、日ごろの生活等で聞いたことがある言い方がでてくるので、児童にとって理解しやすいものだった。しかし、建物の数が増えてくると、なかなか全てを覚えることができなかった。

## 第5・6学年（複式学級） 外国語活動学習指導案

笠岡市立神島外小学校

1. 単元名 : 道案内をしよう (英語ノート 2 p.30-33 Lesson5 第2時)
2. 本時のねらい: 方向や動きを指示する表現を聞いて, 理解する。
3. 本時の展開

過程	児童の活動	指導者の活動	●指導上の留意点 ◎評価規準 ◆国際理解の視点	教材
挨拶 2分	・挨拶する。 Hello. (I'm)good/fine/ sleepy/hungry	・全体に挨拶をした後, 一人ずつ挨拶をする。 Hello, how are you?	●これから授業が始まることを意識させるように, 元氣よく挨拶をする。	
導入 10分	【Let's play】 ・ゲームのやり方を知り, ゲームをする。	・サイモン・セズをすることを告げる。 Let's play "Simon says."	●実際に動作をさせることにより, 児童に動作とそれを表す表現とを結び付けさせるようにする。	
展開 10分	【Let's listen】 ・活動のやり方を理解し, CDを聞いて, ボブ, 麻衣, 健, ジュリアがどこに行くかを聞き取り, 英語ノートに記入する。 ・4人の到着場所を発表する。	・英語ノート p. 30, 31を開け, CDの指示に従って, ボブ, 麻衣, 健, ジュリアが, 駅からどこに行くかを聞き取るように言う。 Where will they go? To the bank? To the school? Let's listen. ・4人それぞれが行く場所を確認する。	●単にやり方を口頭で説明するだけでなく, 指導者は, 実際にやってみることに, 児童にやり方を十分に理解させるようにする。 ◆聞き手にわかりやすく説明するためには, 様々な工夫をすることが有用なことを実感させる。 ◎方向や動きを指示する表現を聞き取って4人がどこにたどり着いたかを聞き取る。 (行動観察・英語ノート点検)	英語ノート p.30,31 CD 建物絵カード
展開 5分	【Let's chant】 ・チャンツを言う。	・チャンツ"Where is the station?"を紹介する。 ・ジェスチャーを付け, 建物絵カードを示しながら一緒にチャンツを言う。	●指導者は, Where?の部分で, 探しているジェスチャーをし, Go straight. Turn left/ right.の部分では, 実際にまっすぐ進んだり, 左(右)に曲がったりして見せることにより, 児童にチャンツの内容を理解させるようにする。	CD 建物絵カード
展開 13分	【Let's listen】 ・英語ノート p. 32, 33を開け, CDの指示に従って地図上で進み, 空き地に巻末絵カードを置く。	・活動の仕方をデモンストレーションで示す。 Go straight. Turn left. Go straight. Go straight and stop. Here is the police box. Put the police box picture card on the map.	●CDを聞き, 答え合わせをする際には, 英語ノートの地図を黒板に提示し, 建物絵カードを貼り, 再度CDが言う行き方の説目に従って, 黒板の地図で磁石のコマを進めながら, 行き方や目的地の場所を確認する。 ◎方向や動きを指示する表現を聞き取って, 目的地に到着する。 (行動観察・英語ノート点検)	英語ノート p.32,33 巻末絵カード CD
挨拶 5分	本時の振り返りをする。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・主に英語を使おうとする態度面について評価する。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	●児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで, 児童に次時への意欲を高めるようにする。	

4. 指導後の反省等: Go straight.や Turn left.の意味を理解することができた。  
どこに行くかを聞き取る活動は, 児童にとって難しかった。

## 第5・6学年（複式学級） 外国語活動学習指導案

笠岡市立神島外小学校

1. 単元名 : 行ってみたい国を紹介しよう（英語ノート2 p.36-37 Lesson6 第1時）
2. 本時のねらい：様々な英語があることを知る。
3. 本時の展開

過程	児童の活動	指導者の活動	●指導上の留意点 ◎評価規準 ◆国際理解の視点	教材
挨拶 2分	・挨拶する。 Hello. (I'm)good/fine/ sleepy/hungry	・全体に挨拶をした後、一人ずつ挨拶をする。 Hello, how are you?	●これから授業が始まることを意識させるように、元氣よく挨拶をする。	
導入 20分	【Let's Listen1】 ・4人の名前を知る。  ・様子から誰がどこの国出身かを予想して答える。 ・CDで4人の自己紹介を聞き、聞き取れたことを答える。  ・4人の話し方、発音などについて気付いたことを発表する。	・英語ノートP. 36の4人の子どもたちの名前を紹介する。 Look at these pictures on page 36. One, two,three,four. There are four people. This is Grace Anan. This is Michal Dionne. This is Min Yomha. This is Robert Branton. ・英語ノートp. 36の4種類の国旗を見るように言い、国名を紹介する。 This is Ghana. What country is this? How about this? This is France. This is Korea. This is Australia.  ・絵カードを見せながら、誰がどこの出身か尋ねる。 Who is from ○○? Now listen to the CD. These four people will introduce themselves. ・4人のことについて聞き取れたことを尋ねる。  ・4人の内容以外で気付いたことを尋ねる。	●いきなりCDで4人の自己紹介を聞かせるのではなく、英語ノートp. 36の4人の子どもや国旗の絵を見せて、児童に4人に興味を起こさせ、それらの絵がCDの内容を聞く際のヒントになるようにする。 ●指導者は質問をしながら、児童から聞き取れたことを導きだすようにする。 ●日本にも地域によって様々な表現があること、方言があることを伝え、広い地域にわたって使われている英語も同様に様々な表現や発音があることを理解させる。 ◎様々な英語があることを知る（発表観察）	英語ノート p.36 CD
展開 10分	【Let's Listen2】 ・英語ノートp. 37を開き、CDを聞いて、四角の枠に番号を、( )に国名を記入する。	Now listen to the CD. Write the numbers and country names in the blanks.  Which country is this?	◆国旗の由来を知ること、国旗がそれぞれの国民にとって大切であることを理解させる。	英語ノート p.37 CD 国旗絵カード
展開 10分	【Let's Chant】 ・チャンツを言う。	・チャンツ絵カードを見せジェスチャーを付けながら、チャンツを紹介する。 The flag is green,white and red. I want to go to Italy. In Italy, I want to eat pizza. I want to play soccer. Yes,let's go!	●いきなりチャンツを紹介するのではなく、国旗絵カードを見せながら、指導者がどの国に行きたいかを紹介する。児童にもその国に行きたいかを尋ねながら、I want to go to~.の表現を何度も聞かせる。 ●最後に行きたい国としてイタリアを紹介するという形を取りながら、チャンツの内容をリズムを付けゆっくり紹介することにより、児童にその意味を理解させるようにする。	CD
挨拶 3分	本時の振り返りをする。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・主に英語を使おうとする態度面について評価する。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	●児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで、児童に次時への意欲を高めるようにする。	

4. 指導後の反省等：CDの4人がどこの国なのか、興味をもって予想することができた。チャンツでは、なかなかリズムによって言うことができないので、繰り返し練習も行いたい。

## 第5・6学年（複式学級） 外国語活動学習指導案

笠岡市立神島外小学校

1. 単元名 : 行ってみたい国を紹介しよう（英語ノート2p.37-39 Lesson6 第2時）
2. 本時のねらい：行きたい国やその理由についてのまとまった話を聞いて、その概要を理解する。
3. 本時の展開

過程	児童の活動	指導者の活動	●指導上の留意点 ◎評価規準	教材
挨拶 2分	・挨拶する。 Hello. (I'm)good/fine/ sleepy/hungry	・全体に挨拶をした後、一人ずつ挨拶をする。 Hello, how are you?	●これから授業が始まることを意識させるように、元気づく挨拶をする。	
復習 5分	【Let's Chant】 ・チャンツを言う。	・チャンツ絵カードを見せながらチャンツを言う。	●絵カードを示しながら言うことにより、児童にチャンツの文言を思い出させるようにする。	CD チャンツ絵カード
展開 10分	【Let's Listen1】 ・どのような単語の絵があるかを発音しながら確認する。  ・CDを聞きながら、カードを並べる。	・どのようなカードがあるか、児童と確認する。  ・CDを聞いて、発音された単語の絵カードを机の上に並べるように指示する。 Now listen to the CD.	●指導者は、発音しながら絵カードを見せ、児童に音と絵とを一致させるようにする。	巻末絵カード CD
展開 10分	【Let's play】 ・絵カードをマスの好きなところに置き、ビンゴシートを作成する。 ・作成したビンゴカードを使って、ビンゴゲームをする。 ・CDを聞いて絵カードをシートから取る。時間内にカードがない列がいくつできたか答える。	・ビンゴゲームをすることを告げる。 ・ビンゴシートを作成することを告げる。 Let's make a bingo sheet. Let's play Bingo Listen carefully.  How many bingos do you have?  ・ビンゴシート作りを再度行い、新たにビンゴゲームを行う。	●9枚の巻末絵カードであるため、早くビンゴになる可能性が高い。そこで、ビンゴシートを何度も作り直し、ゲームを繰り返す行い、児童に何度も、単語を聞かせるようにする。	CD 絵カード ビンゴシート
展開 10分	【Let's Listen2】 ・質問に答える。  ・CDを聞いて、子どもの顔と、国旗、理由の絵とを線で結ぶ。	・英語ノートp. 39の4人の子どもの絵と国旗とを見るように言い、それぞれの名前と国旗とをやり取りしながら紹介する。 What country is this? Japan, Australia, Italy, Egypt.  ・CDを聞いて、子どもの顔と、国旗、理由の絵とを線で結ぶように指示する。 Are you ready? Liste to the CD.and connect the students , the flags and the pictures.	●CDの話を開かせたり、答えを確認したりすることにより、どの児童にも4人の子どもの話が理解できるようにする。 ◎行きたい国やその理由についてまとまった話を聞いて、その概要がわかる。 (行動観察・英語ノート点検)	英語ノート p.39 CD
まとめ 5分	・指導者の行きたい国、その理由についての話を聞く。	・国旗絵カードを見せ、行きたい国を紹介する。そして、児童にこれらの国に行きたいか、また、どの国に行きたいか尋ねる。 I want to go to Egypt. I want to see pyramids. Everyone, do you want to go to Egypt? Where do you want to go?	●単に思いを言うのではなく、なぜそう思うのかという部分を意識して、話すことが互いの深い理解につながることを、また、自分の思考を深めることと指導者は理解し、理由を付け加えるようにする。 ●一方的に指導者が紹介するのではなく、児童にも尋ね、児童とのやり取りをしながら紹介することにより、児童にも紹介に参加させるようにする。	国旗絵カード
挨拶 3分	本時の振り返りをする。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・主に英語を使おうとする態度面について評価する。  ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	●児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで、児童に次時への意欲を高めるようにする。	

4. 指導後の反省：チャンツの練習を何回か行うことで、前時よりもリズムにのってチャンツを行うことができた。ビンゴゲームで使う単語を、楽しみながら覚えることができた。